



# 学校だより

第 76 号

令和 3 年 12 月 13 日 発行

## 「感謝の心」をもつこと

教頭 川之上 涼子

先日、稲盛和夫さんの京セラフィロソフィー（哲学）についての話を聴く機会がありました。稲盛和夫さんは日本を代表する経営者です。京セラやKDDIを創業しただけでなく、倒産したJALの立て直しをしたことでも知られていますね。また、鹿児島出身で鹿児島大学に「稲盛記念館」を寄付され鹿児島の教育にも貢献されている方です。

そんな稲盛さんの哲学には学ぶところがたくさんあります。中でも「不平不満を言う前に、目の前に与えられた仕事を一生懸命にすること」や「利他の心（相手の幸せを願う心）」については胸に刺さるものがありました。稲盛さん自身、会社がうまくいかないことを、周りのせいにして不満ばかり漏らしていた時期があったそうです。自分軸で物事を判断するとうまく行かなかったときに周りのせいにしたくなりますよね。私自身も周りのせいにしたことがあります。そうならないように心掛けています。

それは「感謝の心」をもつことです。これまでも、失敗したり、うまくいかなかったりしたことはたくさんありました。そんな時、「この経験から学ぶことは何だろう。」と考え、経験できたこと自体に「感謝の心」をもつことで、「次はこうしよう。」と、心が前向きになれた気がします。

これからも、私自身いろいろな失敗を繰り返していきと思いますが、「感謝の心」をもち、前向きに生きることを心掛けていこうと再確認する機会となりました。

## 高等部



## ～後期産業現場等における実習～

高等部では、10月11日(月)から22日(金)の10日間は、I課程教科教養コースは学力向上定着期間として1コマ90分の授業、1年生は木工やビーズ、縫製、紙工、窯業、委託作業、園芸、体験の八つの班に分かれて校内実習の実施、2・3年生は福祉事業所や企業での現場実習を実施しました。また、公務員試験や専門学校、障害者職業能力開発校の入試や就労継続支援B型に行くためのアセスメント実習の実施、卒業後の生活を見据えた進路希望先での実習など3年生にとってこの期間は卒業後の進路に関わる大切な期間となりました。試験を必要とする進路先を目標にする生徒は学力の向上定着、働くことを希望する生徒は働く力が備わっているかの確認、生活を豊かにしたい生徒は自分に合っているかの確認をするそんな実習期間になりました。進路先は一人一人違います。どこで何をして生活したいのか改めて親子で語り合ってください。

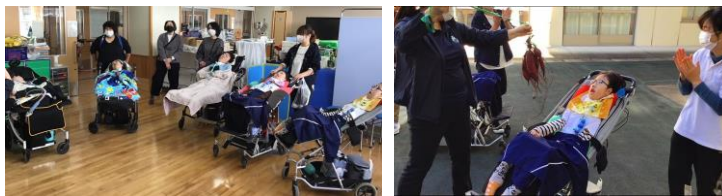


## 訪問教育



## ～スクーリング～

訪問教育学級には、小学部6人、中学部2人、高等部13人の計21人が在籍しています。小中学部の児童生徒は自宅で、高等部の生徒は、やまびこ医療福祉センター内や隣接する皆与志養護学校内の教室を借用して学習しています。小中学部では10月にスクーリングを計画し、芋掘りを行いました。土のう袋や畑で育てたさつま芋を事前に掘り出し、児童生徒が活動しやすいように、畑に見立てた大きな容器に入れて準備をし、芋掘りをしました。自分たちで芋づるに付けられたひもを選び、保護者と一緒に引っ張り、芋を収穫しました。大きな芋が出てきたり、細い芋が出てきたりするたびに周囲から歓声が上がります。楽しい雰囲気の中、芋掘りをすることができました。久しぶりに友達や先生などと会い、いろいろな人の声を聞いたり、会話を楽しんだりといつもと違う体験をすることができました。



## 小学部



## ～お屋さんをしよう～

小学部3年生は、10月に生活単元学習で「お屋さんをしよう」の学習をしました。ジュースやアイスクリーム、お団子、クッキー、ハンバーガー、くじ引きと、各学級で話し合い、準備をした商品がずらりと並び、人との距離をとるように気を付けるなどコロナ禍の生活を反映して26日に店はオープンしました。当日は、交替しながらお客と店員の役をみんな体験しました。「これください。」や「百円です。」と模擬の百円と商品を交換したり、どれにしようかと悩んでいるお客さんに「あん団子がおすすめですよ。」など言葉を掛ける店員さんがいたり、これまでの経験や練習を生かしたやりとりが見られました。買い物が終わると買った商品を見せ合ったり、広げて食べるまねをしたり、中には家に帰って兄弟とお店屋さんごっこをしたりした児童もいました。自分でほしい物を選んだり、より丁寧なやりとりやお金（金額）の計算をしたりと、今回の学習を基にまだまだいろいろなことに取り組んでいきます。



## 寄宿舎



## ～防災訓練～

11月1日から5日に寄宿舎では防災学習期間として、学習ホールに様々な防災グッズを展示しました。生徒たちは実際に防災グッズを手に取り、使い方の確認をしたり、どういうときに使うのか指導員に聞いたり生徒同士で話し合ったりしました。実際に防災グッズに触れることで、防災について意識を高める機会となりました。



## 中学部



## ～修学旅行～



中学部3年生は、11月16日から2泊3日で修学旅行に行きました。1日目は、鹿屋市民族館で、アジア太平洋の民族衣装を試着したり、普段接することのない楽器やおもちゃなどを楽しんだり、アジアの文化に触れることができました。午後は内之浦宇宙空間観測所で、直前に打上げられたイプシロンロケットの発射台を見学し、技術の高さやスケールの大きさを感じることができました。2日目は、有明農業歴史資料館で農業の歴史や昔の農機具を見学したり、イルカランドでイルカやペンギンなどの動物と触れ合ったりしました。3日目は、桜島の着色した火山灰で、はがきを彩る火山灰アートを体験したり、福山黒酢の郷で広大な壺畑を見学したりしました。生徒は、毎回のように御馳走をいただき、各訪問先でも親切丁寧な対応を受けました。そして、寝食を共にする中で、友達同士の仲もより深まったようです。感染症対策で延期や県内旅行となりましたが、改めて大隅を中心に県内の文化や自然、人の温かさを感じる旅行となりました。

## 3 学期の主な行事

- 1月11日 (火) 始業式
- 1月14日 (金) 小・中入学予定者面接 (小・中学部は休業)
- 1月18日 (火) ～1月28日 (金) 中・高等部校内展示会
- 1月27日 (木) KAYOフェスタ (中学部) 中学部保護者のみ参観
- 1月28日 (金) KAYOフェスタ (高等部) 高等部保護者のみ参観
- 2月10日 (木) 感謝する会
- 2月16日 (水) 小・中入学者説明会
- 2月17日 (木) ・18日 (金) 高等部入学者選考 (高等部は休業)
- 3月18日 (金) 卒業式
- 3月25日 (金) 修了式・離任式

2学期の他の行事についてはホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。

<http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/kagoshima-h/top.htm>

2学期の他の  
行事については  
ホームページに  
掲載しています  
ので、そちらも  
ご覧ください。